

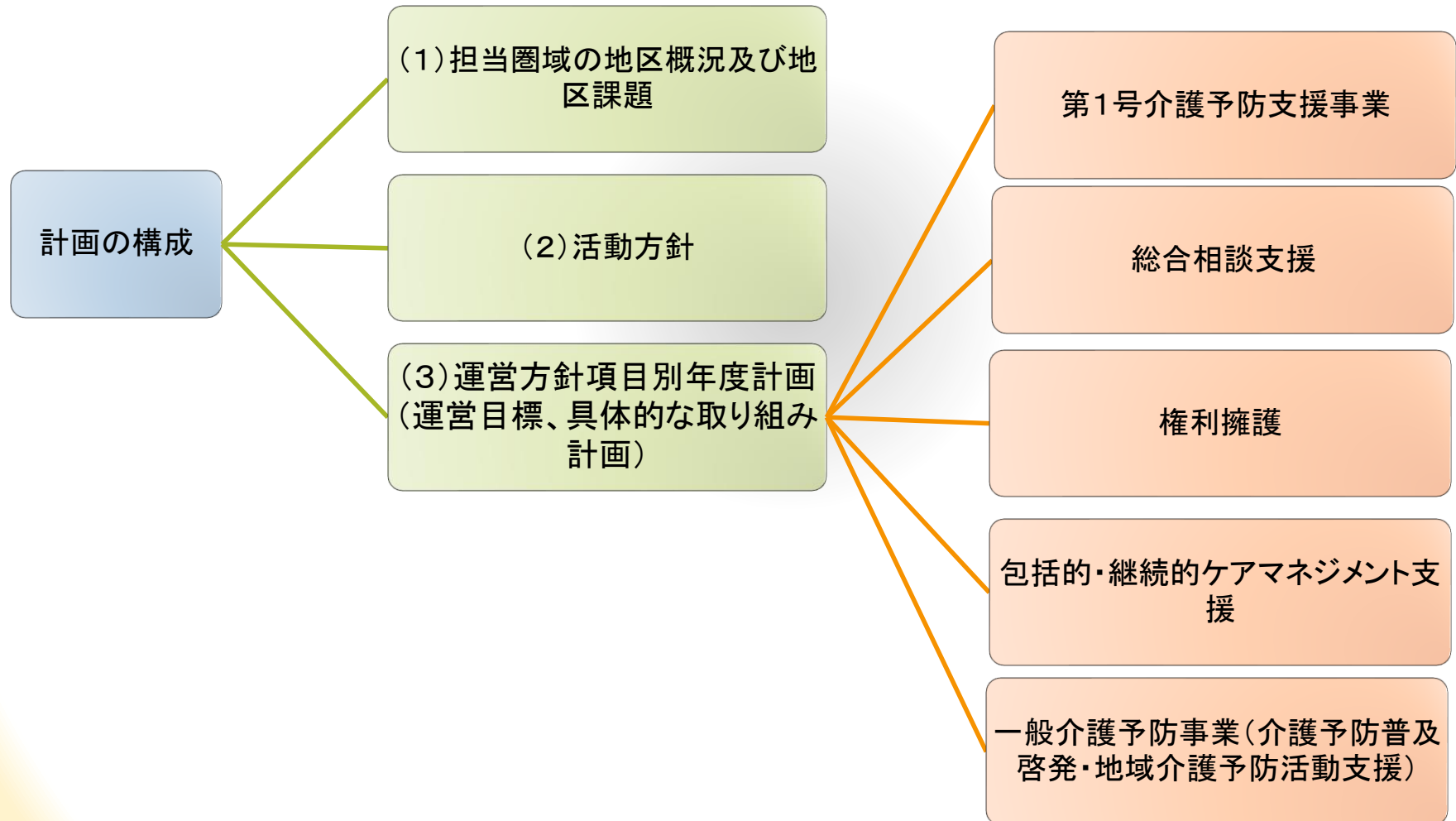
【資料2－1】

令和7年度千葉市あんしんケアセンター 運営事業計画について

地域包括ケア推進課

1 計画の構成

「令和7年度千葉市あんしんケアセンター運営方針」に基づき、
各あんしんケアセンターにおいて、令和7年度の運営事業計画を作成した。



2 運営事業計画 項目別-1

第1号介護予防支援事業

○住み慣れた地域で自立した生活が継続できるよう、生活支援コーディネーターと協働し、インフォーマルサービスを含め適切なサービスが提供できるよう支援する。

総合相談支援

○複雑化、複合化する総合相談にワンストップで対応するために、多機関・多職種とネットワークを構築する。

○本人の解決能力を活かしながら課題解決をできるような支援に努める。

権利擁護

○高齢者虐待の予防と早期発見に努め、発見時は速やかに状況を把握し、行政機関と連携し対応する。また虐待の早期発見を目的とし事業所向けに研修会を実施する。

○成年後見制度の周知を行い、必要な人に対し多機関と連携し制度利用に向けて支援する。

○認知症になっても安心して生活できる街づくりを目指し、地域住民と連携する。

2 運営事業計画 項目別-2

包括的・継続的ケアマネジメント支援

- 地域ケア会議や事例検討会を通し、関係機関とのネットワークの構築を行う。
- 地域の介護支援専門員が抱える困難事例に対して、同行訪問や担当者会議の同席などを通じ、後方支援を行う。

一般介護予防事業(介護予防普及啓発・地域介護予防活動支援)

- 高齢者生きがいをもって生活を楽しみ、自ら介護予防の意識(セルフマネジメント)が持てるよう地域全体に介護予防普及啓発活動を行う。
- 生活支援コーディネーター等と連携し、住民主体の通いの場の後方支援を行う。

3 運営事業計画

(各あんしんケアセンターの活動目標、取り組みのポイント、アピールしたい点)

①中央区

センター名	活動目標・取り組みのポイント・アピールしたい点
弁天	地域訪問を重ね、地域団体・関係機関等の信頼関係やネットワークを深める。身寄りがない、高齢者夫婦、地域や社会との繋がりが無い世帯等の把握や支援を継続する。社会的孤立・孤立死・情報格差の減少を目指す。高齢者以外の関係機関ともネットワークを構築し、終活、障害、経済困窮等の施策周知や啓発に努める。
中央	これまでのセンター運営で漠然と把握していた課題について会議や調査等を通じて明確化し、地域の関係機関と連携しながら具体的な解決方法について検討する。特に圏域西側エリアのサービス事業所が利用できる駐車場や駐輪場が無い問題について、それが原因でサービス提供を断られている実態等も含めて調査し、具体的な解決方法について検討していく。
千葉寺	高齢者の健康寿命の延伸、尊厳ある生活の実現に向け、関係機関と連携してセルフマネジメントの推進を目指します。また、孤立させない地域づくりのために、センターの機能周知を積極的に行い、地域の様々な方々が相談しやすいセンター運営に努めます。
松ヶ丘	孤立・孤独に対する取り組み、地域の特徴（特に地形）によって生じる生活のしづらさの改善に取り組むことで、住み慣れた地域での暮らしの継続が図れるよう様々な支援を行っていく。問題が複雑化・深刻化する前に、相談に結びつくよう、多世代に向けあんしんケアセンターを周知する。
浜野	〔活動目標〕地域の活性化。〔ポイント〕圏域内全小学校を会場に、SDGsイベントを実施してきた。今後も多世代に共通する地域課題解決に向けた活動を継続していく。〔アピール点〕SDGsイベントや徘徊模擬訓練等を通して多機関と連携体制が構築できており、一緒に地域課題に取り組める環境がある。

3 運営事業計画

(各あんしんケアセンターの活動目標、取り組みのポイント、アピールしたい点)

②花見川区

センター名	活動目標・取り組みのポイント・アピールしたい点
こてはし台	圏域内の支援者や家族介護者などに向けた支援体制を充実させ、必要とする情報や支援を提供する。また、介護や支援に関する知識等を深めるための学びの場を設け、支援者同士の交流や学び合いの機会を増やすことで、地域全体の支援力を高めることを目指す。
花見川	目標：「誰も孤立しない」を目的に地域住民や地域団体、機関、サービス事業所等と見守りの効いた地域づくりを進める。 ポイント：地域ケア会議を通じて課題の洗い出しと共有を進め、生活支援コーディネーターや他機関と協働して地域活動の充実を図っていく。
さつきが丘	当事業所においては、年1回事業所内にて消費者被害勉強会を行っている。高齢者を狙った詐欺被害が増え続ける中、勉強会を中心に得た知識や技術を活かし、未然に詐欺被害を防ぐ。また、地域の高齢者に対する詐欺被害の周知徹底を図るため、チラシの配布や出張講座を開催する。
にれの木台	あんしんケアセンターの周知活動を継続して行います。複合的な相談は、所内包括3職種で情報共有し、高齢障害支援課や医療、介護、福祉などの関係機関と連携し、問題解決に向け対応します。地域の高齢者が、自ら考え、行動できるセルフマネジメントの重要性を理解できるように相談時やラジオ体操、健康教室などを通して伝えていきます。
花園	あんしんケアセンター花園がより身近な相談窓口になれるよう周知活動に力を入れたい。地域の活動に積極的に参加し、介護予防や消費者被害等の啓発活動も行いつつ、あんしんの周知も行っていく。また、総合相談に関しては、迅速な対応を心掛け、包括3職種の専門性を生かした的確な支援ができるようスタッフの質の向上も目指していく。
幕張	事態が極度に困窮していたり、複合的課題を抱える相談者は多く、支援体制構築のために他の相談支援機関や専門職者との共同と連携が必須である。属性を問わず多世代に当センターの機能を周知し、地域住民に高齢者の生活相談窓口の存在を理解していただくことで、早期相談と早期対応のにつなげる。

3 運営事業計画

(各あんしんケアセンターの活動目標、取り組みのポイント、アピールしたい点)

③稲毛区

センター名	活動目標・取り組みのポイント・アピールしたい点
山王	地域課題の把握や地域福祉の増進のため、圏域内の事業所や民生委員との会議や研修を継続実施するとともに、経年的に実施してきたICTを活用した地域活動について、住民の声を活かしながら実施体制を検討したり、圏域内2カ所での介護予防イベントにおいて、効果やニーズの検証を計画するなど、「効果的な運営」をめざし活動していく。
園生	高齢者を取り巻く環境が多種多様化し、相談内容も近隣トラブルやペット問題等、高齢分野の知識や公的な制度だけでは対応できないことも増えている中、どのような相談に対しても第一窓口として傾聴し、解決に向けて支援するセンターを目指す。 公的な支援制度だけでなく、地域の力やインフォーマルサービスをフル活用した支援を積極的に実施する。
天台	高齢者を取り巻く社会情勢の変化もあり、高齢者の問題を高齢者支援機関だけで支援していく事が難しくなっている。複雑化した問題を解決するために、高齢者支援機関のみならず、様々な支援機関と連携を取ることが出来るよう関係性の強化を図る。また、民間企業や学校なども含め、地域に住む人だけでなく地域に通う人も取り込みながら連携強化を図っていく。
小仲台	2025年を迎え、今後も事業対象者の増加が予測される中、個々の住民が自立した生活を目指して、自ら具体的な課題を見出し、セルフマネジメントができるように支援すると共に、地域の医療、介護、民生委員などの支援者と連携し、圏域全体で自助、互助への意識を広めていく。
稲毛	地域活動の再開、及び新たな場所での開催ができるよう各機関との連携を強化すると共に、多くの方に介護予防の必要性を実感してもらい、住民同士の繋がりを持ってもらえるよう普及啓発活動に取り組む。また多世代交流が持てるよう地域のイベントに企画から参加することで、地域資源の情報を把握すると共に、地域の中で活用される支援を進める。

3 運営事業計画

(各あんしんケアセンターの活動目標、取り組みのポイント、アピールしたい点)

④若葉区

センター名	活動目標・取り組みのポイント・アピールしたい点
みつわ台	(計画)住み慣れた地域で安心して生活ができる地域づくりを行う。 【具体策】①地域課題の解決に向けて自治会や民生委員、企業等と連携し、地域ケア会議を開催する。②民生委員や支えあいの会の定例会等に参加し、介護予防や権利擁護等の周知活動を行う。③ボランティアと連携を図り、認知症カフェや本人ミーティングの開催を実施する。
都賀	住民一人ひとりが自主的に介護予防の意識を持ち、高齢者が安心して住み慣れた地域で暮らし続けられるように、包括3職種と生活支援コーディネーターが日常的に地域特性や住民ニーズ、活動状況等の情報を共有し、介護予防・認知症関連講座や地域活動の支援を行い、インフォーマルサービスの定着と地域住民や関係団体支援者、行政とのネットワーク構築を図る。
桜木	総合相談については、迅速で丁寧な対応を実践する。また、内容によっては複数体制で支援することが必要と考える。さらに関係機関との報告・連絡・相談を密に、結果を急がず、本人、家族の意向を尊重した支援を展開していく。
千城台	高齢者が健康で住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、多様化する支援ニーズに対して包括3職種が連携し、課題解決に向けて適切な支援を行う。また、増加している介護保険の相談に対しては、必要な支援を行うとともに、介護を必要としない状態を維持する健康寿命増進に向けて介護予防普及啓発に注力する。
大宮台	若葉区の面積の約半分を占める圏域だが、地域に偏ることなく、認知症や介護保険の講座を行う。センターから遠い地域の方々にも身近に感じていただけるよう、社協地区部会・自治会の役員と対話を重ねながら出張相談や出張説明会を開催する。増え続ける総合相談に、包括3職種が協力して対応する。

3 運営事業計画

(各あんしんケアセンターの活動目標、取り組みのポイント、アピールしたい点)

⑤緑区

センター名	活動目標・取り組みのポイント・アピールしたい点
鎌取	<ul style="list-style-type: none">・積極的なアウトリーチにより個々の高齢者が抱える潜在的ニーズの発見に努める。・高齢者の抱える複合的な課題については多職種連携や多職種協働により早期解決に努める。・地域ケア会議の開催を通じ、地域課題の把握や政策提言を行う。
誉田	<ul style="list-style-type: none">・気軽に相談ができ、早期に支援を始められるようにするため出張相談会を充実させる。・介護予防や健康に関する情報を伝え、地域住民のセルフマネジメントへの意識を高める。・複雑な課題が増えているので、包括3職種だけでなく、関係機関と連携しチームで支援を行う。
土気	高齢者やその家族が抱える複雑多様化する生活課題に対して多職種、関係機関と協働し、高齢者だけでなく世帯全体を包括的に支援する体制づくりに取り組む。また、個別事例の相談対応の積み重ねから地域課題の抽出を行い、地域ケア会議を通して地域課題解決に向け取り組む。

3 運営事業計画

(各あんしんケアセンターの活動目標、取り組みのポイント、アピールしたい点)

⑥美浜区

センター名	活動目標・取り組みのポイント・アピールしたい点
真砂	①高齢者自身のセルフマネジメント：真砂1丁目～5丁目の各地域に歩いて行ける集いの場を増やす。 ②認知症施策の推進：認知症高齢者への声掛け訓練、どこシル伝言板の体験会を通じた普及啓発を行う。 ③ケアマネジャーの資質向上：i「センター独自の手順書」による予防プランの作成指導、助言及びii「高齢者虐待対応研修会」を実施する。 ④高齢者虐待対応の評価：ケアマネジャーへ匿名でアンケートを実施する。
磯辺	・介護予防手帳を活用し、体力測定やチェックリストをする。高齢者自身が自分の状況を確認できるようにする。 ・運動だけでなく、様々な社会活動の場を支援し、住民がいろいろな機会を選択できるように活動の場を支援する。
高洲	①独居、高齢者世帯、移住者が多い地域の為、積極的に訪問し、相談者の多様な背景やニーズを理解し、丁寧な傾聴と迅速な対応に努める。 ②住民の出入りが多い建物内での業務の為、介護予防普及啓発活動に努めていくと同時に、急な来所相談に備えた柔軟な対応を目指す。
幸町	①個別課題や地域課題の解決のため、多種多様な専門職や関係機関と連携し課題解決に取り組む。 ②地域づくりのために住民や関係機関と日頃から連携を図る。 ③関係機関と協同しながらイベントを開催し、多世代交流や地域活動を促進する。